

Tokyo Tobihino Rotary Club



イマジン
ロータリー

会長テーマ
ロータリークラブここにあり!

2022-23 Weekly Report vol.35-10



会長 守重 昌之



幹事 仙波 秀夫

2022年9月14日(水) 第1597回 曼殊沙華合同例会 於:高幡不動尊客殿

■司会 日野RC例会向上委員会 倉林弘明会員

■開会点鐘 日野RC会長 松浦信平会員

■我等に生業 ソングリーダー日野RC 熊井治孝会員

■お客様紹介 日野RC会長 松浦信平会員

杉田純一様、高幡不動尊金剛寺貫主で本日卓話をお願いしました。

■会長報告

日野RC会長 松浦信平会員

報告内容略

飛火野RC会長 守重昌之会員

本日の曼殊沙華例会は私が参加するのは初めてでどんな例会になるか全くわかりませんので楽しみにしていました。日野クラブ皆さん設営ありがとうございます。

さて、私は先週末に愛媛県松山市に行ってきました。目的は3月に亡くなった友人のお墓参りです。彼とは2008年14年前に当時、日野青年会議所のメンバーとして日本青年会議所の全国大会運営会議という会議体に出向した時の仲間でした。彼は副議長として私たちのグループの責任者として1年間行動を共にしました。そのグループはかなり大変な仕事を任せられたグループで再来年の全国大会開催地立候補地の青年会議所からのヒアリングをする任務を負っていました。その年に立候補した青年会議所は例年よりも多く、全国4都市に行つてのヒアリングです。一週間かけて北九州から始まり、奈良、名古屋、江戸と本州を縦断する強行日程でした。そんな付き合いですから毎年、同窓会を繰り返し常に連絡をとる大切な仲間でした。1月にはLINEであけおめの挨拶を交わし今年も同窓会をする予定になっていました。そんな彼が癌で亡くなったとの連絡が3月にあり、信じられない思い出いっぱいでした。コロナ禍ということもあり、葬儀は近親者のみで行ったため会うことも出来ず先週末にお墓参りに行った次第です。

最近、私の周りでは若くして癌で亡くなる方が多いです。6月に亡くなった我がクラブの長谷川さんもその一人です。癌で亡くなる方があまりにも多いので、その原因をネットなどで調べると諸説あるそうですが「食品添加物」が一因になっているそうです。ご存知の方もいると思いますが日本では1500品目

上の食品添加物が許可されていてアメリカ:133種類・ドイツ:64種類・フランス:32種類・イギリス:21種類だそうです。いかに日本の食品添加物が多いのかわかると思います。

わがクラブにも日野クラブさんにも90歳を超えた会員さんがいますが健康で長生きするには食がとても大事だと思います。もう一度、食の重要性を考えていただき皆さんと一緒に楽しく長生きしたいと思います。ありがとうございました。

■幹事報告

日野RC幹事 田中くに子会員

報告内容略

飛火野RC幹事 仙波秀夫会員

1.10/24に開催されます、世界ポリオデー2022「プレス～しあわせの呼吸」参加のご案内が届いています。参加ご希望の方は事務局までご連絡をお願いします。

2.ロータリー文庫より決算報告と予算書が届いています。

3.地区より「青森県大雨災害支援金についてのお願い」が届いています。

4.よねやまハイライト270号が届いています。

5.八王子南RC・八王子北RCより例会予定のご案内が届いています。

■出席報告

日野RC出席奨励委員会委員長 阿野正輝会員

報告内容略

飛火野RC 幹事 仙波秀夫会員

報告内容後記

■ニコニコ報告

日野RC親睦委員会委員長 西山尚之会員

報告内容略

飛火野RC 親睦委員会副委員長 葛西晃子会員

メッセージ後記

■委員会報告

■卓話講師紹介 倉林弘明会員

本日のお客様は高幡不動尊金剛寺貫主 杉田純一様です。卓話をお願いしました。よろしくお願いします。

■卓話「曼珠沙華とよもやま話」 杉田純一様

本日、東京日野RC・東京飛火野RC合同の曼珠沙華例会で卓話をさせていただきます高幡不動尊の杉田です。よろしくお願いします。先程、日野RC松浦会長より「日野クラブ50周年事業」として曼珠沙華の球根3万個を高幡山中に植えた話がございました。早いもので植えてから7年経つのだな、と感じるところであります。寺の機関紙「山報」で紹介すると、その後全国から寺へ多くの球根が届けられ、現在は10万株の曼珠沙華が咲き誇るようになりました。球根には中国産と国産があり、中国産は9月初旬に咲き始め、国産はまさに彼岸の頃に咲きますので長く楽しんでいただけます。

私はあまり話が得意ではなく、当寺の黒川と結城がこの場にいたので「嫌がらせかな？」という感じがします。

昔、高幡山の境内に「ときわ保育園」があり、私はこの保育園へ柚木の最照寺からバスで桜ヶ丘駅に出て電車で2つ目の高幡不動駅で降りて通園しておりました。

改札口を出ると参道には赤とか青とかのカフェがあったことを覚えております。

同じ保育園に元日野RCメンバーの谷井さんが通っていて今でも仲良く付き合いをしております。当時の寺は、うっそうとしていて小さな子供には怖く、山門から少し前は黒塀で客殿も木造の建物でした。

親父が僧侶で高幡山に勤めていたので、ときわ保育園に通園していたのです。夏には親父とおじさんと浅川に泳ぎに行ったこと、水がきれいであったことが思い出されます。

子どもの頃から忙しいときはお不動様を手伝っており、高校時代は親父とも口を利かず、美術部でいつも自分の好きな木炭デッサンを描いていて、勉強はあまりしませんでした。高3の時、親父から「坊さん」になってくれと言われ、大学は芸大、多摩美、武蔵美のいずれかに進学したいと思っていましたが、長男ゆえ坊さんになるために大正大学へと進学しました。大学の4年間には「安田講堂事件」があり、それこそ今でいうロックアウトで学校に行っても勉強せず、卒業に5年の月日を費やしてしまいました。卒業後すぐに高幡山に入寺するのがいやで、義理の兄の仕事を手伝っておりましたが、そうもいかず渋々入寺致しました。

当時の住職秋山御前さまはとても怖く、遷化されるまで私はもとに話をしたことがなく、親父が正座させられて御前様に叱

られている姿が幼いころの記憶に残っております。30歳の頃「練行」の修行を3週間することになり、京都の総本山でやれば多少楽になるのですが、秋山御前さまの元でやらないわけにはいかず、いざ「やらせてください」とお願いをしても返事がなく3時間くらい立たされた末ようやく許可が下りるという厳格な御前さまでした。

その後10年間は誰も入寺してこなかったので不動堂の護摩準備と交通祈願を一人でこなしていました。当時は20人くらいの職員で坊さん以外は定年した人が6~7人おり、護摩修行はひと月に10回焚けばいいくらいの日々でした。それでも秋の七五三祈願は1日500人ほどの子供に両親、おじいちゃんおばあちゃんが一緒に来山していたので、不動堂の周りには人でいっぱいでした。それから今の寺を見ると、少子化の為に七五三祈願は少なくなり寂しく感じます。またお不動様のご縁日は毎月28日で、特に正月28日の初不動と言えば、元旦よりも参拝者が多く賑わいを見せていたものですが、今は昔ほどではなくなりました。

50歳のとき、脳梗塞で倒れ10日ほど半身不随になりました。毎日酒を浴びるほど飲んでいたら倒れてしまったのだな、と思いました。性格がポジティブなので泣いて治るわけでもないし、楽しく入院生活を送るにはどうすればいいか考えて、普段できない髭を伸ばしたりして羽を伸ばしていました。

最後に

入院中は看護師さんの笑顔にいつも癒されておりました。仏教に「和顔愛語」という言葉があり、その意味は「和らいだ優しい顔と心からの言葉」で、人と接することで私は看護師さんのにこやかな笑顔に日々助けられ、改めて自分も笑顔を絶やさないう人になろう、多くの参拝者を導いていこうと思った次第です。少々、準備していた話とは違う内容でしたが、皆さんの大切な時間を頂き、ありがとうございました。

■謝辞・謝礼 日野RC会長 松浦信平会員

■閉会点鐘 飛火野RC会長 守重昌之会員

